

「介護保険事業の概要」（資料 1）として、令和 2 年度に板橋区で行った介護保険関連事業の実績をまとめました。参考として、資料の概要や要点を記載しておりますので、「介護保険事業の概要」（資料 1）と一緒にご覧ください。

【 1 被保険者と認定状況】

●(1)被保険者・認定者数（外国人含む）【P.1】

👉ポイント

令和 2 年度末の 65 歳以上の人口は 13 万 2,353 人で、総人口 57 万 24 人の 23.2%にあたります。令和元年度末の同割合が 23.1%だったため、同割合は微増していることがわかります。また、認定者数は 2 万 6,674 人であり、元年度末の 2 万 6,128 人から 546 人の増加となっています。

●(8)要介護度別認定者数の推移【P.4】

👉ポイント

①の表の右端にある認定率は、高齢者数に占める認定者数の割合を示していますが、平成 29 年度が 18.58%であったのに対し、平成 30 年度から大幅に上昇し 19%台となり、令和 2 年度は 19.78%にまで増加しています。②の表は、認定者数等の事業計画値との比較になりますが、計画値との乖離は要介護 2 を除き、概ね 5%程度の範囲内に収まっています。

【 2 サービス利用状況】

●(1)在宅・地域密着型、施設利用者数及び未利用者数の推移【P.5～P.6】

👉ポイント

①の表における令和 2 年度 3 月分の利用者数 1 万 7,894 人は、認定者数（2 号含む）の 67.4%にあたります。また、平成 30 年度との比較では、756 人、4.4%の増加となっています。②の表における令和 2 年度 3 月分の利用者数 2,997 人は、認定者数（2 号含む）の 11.3%にあたります。また、平成 30 年度との比較では、20 人、0.7%の増加となっています。③の表における令和 2 年度 3 月分の未利用者数 5,822 人は、認定者数（2 号含む）の 21.9%にあたります。また、平成 30 年度との比較では、607 人、11.6%の増加となっています。

●(2)要介護度別利用限度額に対する利用割合と平均利用額【P.7】

👉ポイント

要介護度が高くなるほどサービスの利用が多くなるのがわかります。

●(3)要介護度別介護サービス利用者数（延人数）【P.8】

👉ポイント

①の在宅サービスについては、おおよそのサービスで要介護 2 の方の利用が最も多くなる傾向がありました。一方で、訪問入浴介護は、介護度が高くなるにつれて利用が増加しています。②の地域密着型サービスにおける認知症対応型通所介護は要支援の利用がほぼ無く、要介護者の利用が中心となり、特に要介護 3 の方の利用が多くなっています。認知症対応型共同生活介護は、要介護 2・3 の方が多くなっています。③の施設サービスについては、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設では、在宅サービスとは異なり、要介護 3 から 5 の方の利用が中心です。介護医療院では、要介護 4・5 の方の利用が中心です。

●(4)介護サービス利用者数及び利用回数（要介護 1～5 の利用者）【P.9】

👉ポイント

①の在宅サービスについては、要介護認定者数の増加に伴いまして、訪問系を中心に利用者数、利用回数が前年度よりも増加しているサービスが多くなっています。一方で、通所系やショートステイといわれる短期系は利用が減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用を控えた方などがいた可能性が考えられます。

●(5)介護予防サービス利用者数及び利用回数（要支援 1, 2 の利用者）【P.10】

👉ポイント

要支援 1・2 の方が対象となる介護予防サービスの利用者数と利用回数の推移を掲載しています。こちらも P.9 と同様に訪問系の利用が伸びている一方で、通所系・短期系の利用が減少していることがわかります。

●(6)事業計画値と実績値との比較【P.11～P.12】

👉ポイント

訪問看護等を中心とする在宅サービスの一部が計画値と比較して順調に推移している一方で、令和元年度まで増加傾向であった通所系や短期入所系のサービスが、令和 2 年度実績では減少し、計画値との乖離が生じています。

●(7)所得段階別保険給付サービス利用状況【P.13】

👉ポイント

所得段階別のサービス利用状況では、①の在宅・地域密着型サービスは前年度より増加していますが、②の施設サービスは減少しています。

●(8)世帯員別保険給付サービス利用状況【P.14】

👉ポイント

この表は世帯員別のサービスの利用状況になります。在宅・地域密着型サービスでは、一人世帯が全体の約 53%、施設サービスでは、全体の約 66%を占めています。

●(9)地域包括支援センター（おとしより相談センター）別高齢者数・認定者数【P.15】

👉ポイント

この表は地域包括支援センター圏域別の高齢者数及び認定者数のデータになります。特徴としては、高島平圏域で、高齢者数が多いものの、認定率は 16.42%と低い値となっています。

反対に最も認定率が高いのは、三園圏域の 22.65%で、高島平圏域との差は約 6.2%となっています。

【 3 地域支援事業】

👉ポイント

16 ページからは、地域支援事業に関する実績になります。以降、21 ページまでは、各事業の実施回数や参加人数の実績となっています。

22 から 24 ページについては、包括的支援事業の実績で、おとしより相談センターの相談実績等を掲載しています。

25 ページから 28 ページについては、任意事業の実績で、介護給付の費用適正化事業や家族介護支援事業などにかかるものとして、苦情相談の受付件数やその他事業の実績などを載せています。

全体を通して、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度と比べて利用回数や実施回数が減少している事業が多くありました。

【4 介護保険サービス利用に関する施策】

☞ポイント

介護保険サービス利用に関する施策として、低所得者の方への負担軽減策についての実績や、集団指導、ケアプラン点検など介護保険制度の適正な運営を推進していくうえでの施策に関する実績となっています。

【5 介護保険料】

☞ポイント

32 ページは、第 7 期介護保険料の保険料段階と、令和 2 年度の段階別の対象者数及びその構成比となっています。

33 ページは、令和 2 年度の保険料収納状況になります。普通徴収の収納率は 85.27%となっており、特別徴収と合わせた全体の収納率は、98.24%となっています。

【6 介護保険指定事業者数一覧（板橋区分）】

☞ポイント

区内の介護保険指定事業者数一覧で、東京都の指定事業者になっています。

【7 地域密着型サービス事業者一覧】

☞ポイント

35 ページから 38 ページについては、地域密着型サービスの事業者一覧で、39 ページ、40 ページはそれに対応した分布図となっており、こちらは、板橋区の指定事業者になります。